

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

みだしのことについて、沖縄県病害虫発生予察事業実施要項に基づき、注意報第2号を
発表したの送付します。

平成18年度病害虫発生予察注意報第2号

- 1 病害虫名 ウンカ類(トビロウンカ、セジロウンカ)
- 2 発生地域 沖縄諸島 八重山諸島
- 3 作物名 水稻(二期作)
- 4 発生程度 多
- 5 注意報発令の根拠
 - 1) 8月に石垣島の予察灯に誘殺されたウンカの個体数は98頭(トビロウンカ63頭)で平成14年より多かった。
金武町伊芸の予察灯においても、8月23日～9月4日の期間に、550頭(トビロウンカ:452頭 [82%];セジロウンカ:98頭 [18%])が誘殺された。
 - 2) 二期作圃場における9月4～7日のウンカ類の生息密度は、沖縄諸島では2.01頭/株(平成14年[2002年]0頭/株、平成16年[2004年]0頭/株)と多く、八重山諸島では0.3頭/株(前年0.03頭/株、平成14年0.23頭/株)と平成並であった(表1)。ウンカの種別は、トビロウンカおよびセジロウンカが多かった。
 - 3) 両種は、例年二期作が始まる8月下旬頃から急増し、10月下旬～11月上旬に最も多くなり、坪枯れをもたらすことが多い。
 - 4) 今年二期作期における本県へのウンカ類の飛来ピークは8月30日と考えられるが、その後も少数ながら飛来が確認されている。

表1 9月上旬の調査におけるウンカ類発生圃場率および株当たり虫数

調査地点	調査圃場数	発生圃場率(圃場数)	株当たり虫数
名護市	3	100 % (3)	2.58 頭
恩納村	3	100 % (3)	2.93 頭
金武町	6	83 % (5)	0.52 頭
伊平屋村	3	100 % (3)	1.71 頭
伊是名村	3	100 % (3)	3.07 頭
石垣市	21	100 % (21)	0.30 頭
与那国町	5	20 % (1)	0.01 頭

- 6 防除上注意すべき事項
 - 1) 飛来虫の次世代である第一世代は繁殖能力が著しいことから、第一世代が成虫になる前に防除することが重要である。
 - 2) 9月上旬における株当たり虫数が0.3～0.5頭以上(トビロウンカ)の場合、収穫以前に坪枯れが生じる可能性があるため、早期発見・適期防除に努める。
 - 3) 飛来のピーク日(8月30日)と有効積算温度による発生経過予測より、防除適期(第一世代2～3齢幼虫期)は9月11～16日頃と推定されるので、手遅れにならないように注意する。
 - 4) 発生状況は圃場毎に大きく異なっているため、圃場の見回りを徹底し、払い落とし法等によって発生程度を把握した上で、防除を行う。
 - 5) 箱施用剤や本田基幹防除を実施しなかった圃場、あるいは実施後日にちが経過し薬剤効果が低下している圃場では、特に防除が必要である。
 - 6) 薬剤散布は、本虫が多く寄生する水面近くの株元に薬剤が十分付着するように丁寧に行う。